

# 実践記録 シリーズ 145

## たほう やまなみ 多宝の山脈に学ぶ 岩室ふるさと講座

新潟市西蒲区岩室地区公民館 竹内みよ子

### 1. はじめに

海、山、平野と、地域の宝を乗せた「岩室ふるさと講座」は、歴史や文化に触れ、沢山の人々と出会いながら、3年間の「岩室再発見」の旅を続けた。この講座は、地域の魅力を一人でも多くの人に知ってほしいという試みであり、歴史や風土を含め、さまざまな角度からその魅力に迫り、ふるさと再認識につなげることを目指した。

### 2. 内容

#### 歴史・文化

〈天神山城・山岳信仰と仏像・角田山麓の古墳〉

縄文文化にさかのぼる歴史から古墳をめぐり、蒲原平野を支配した豪族の奥津城(墓)を訪ねた。天神山では山城の歴史にふれ、山岳信仰で訪ねた山腹に残る堂趾、廃寺に安置されている仏像は山岳信仰を彷彿とさせた。

〈間瀬大工匠の技～先人の足跡を追って～〉 3年継続事業

各地に遺る間瀬大工の技術の粋をつくして建築された寺院を廻った。13年を費やして建立した能登の古刹「阿岸本誓寺」(石川県文化財指定)では、施された繊細な彫刻の中にも荘厳さが漂い、先人の優れた技の遺構を前に当時の苦労が偲ばれた。

#### 自然・食

〈天神山の植物・間瀬海岸の記念物〉

①学術的にも貴重な植物の宝庫として知られる天神山から間瀬海岸の記念物を探索。自然界の命の重みを感じた。

②古くから伝えられる、様々な年中行事やそれに伴う郷土食の由来の一端にふれ、岩室が生んだ古の食の魅力を探求。

#### 平成19年度「ふるさと講座」4回

回	日時	テーマ	参(男)	参(女)
1	7.14(土)	銅壺鍋(昔、漁師が舟で作った鍋)	15	20
2	9.29(土)	岩室の名水・多宝山の山野草	15	20
3	10.11(木)	間瀬大工匠の技(新潟市周辺)	16	24
4	11.10(土)	岩室の郷土食(のっぺ・けんさ焼き)	8	22
計			54	86

#### 平成20年度「ふるさと講座」5回

1	6.21(土)	天神山城と館趾を訪ねて	24	16
2	8.27(木)28(木)	間瀬大工匠の技(石川県)	26	15
3	10. 5(日)	天神山の貴重な植物 秋の七草	8	26
4	11. 3(月)	山岳信仰の寺趾と仏像(多宝山～)	28	15
5	11.29(土)	郷土料理(おこわだんご)	6	42
計			92	114

#### 平成21年度「ふるさと講座」4回

1	7.11(土)	間瀬海岸の植物(バシクルモン他)	13	25
2	8.26(木)27(木)	間瀬大工匠の技(信州路～)	25	19
3	10.17(土)	古墳をめぐる(菖蒲塚・山谷他・観音山・稲場塚)	17	18
4	11.28(土)	持斎膳を再現(旧庄屋 佐藤家)	7	25
計			62	87
参加者3年間合計			208	286



「山岳信仰の寺趾と仏像」  
宝光院(弥彦)に安置されている  
龍池寺遺像多聞天像



「古墳をめぐる」  
縄文の暮らしにロマンを  
求めて



「間瀬大工匠の技」  
寺に残る棟札から  
先人の足跡を追って



「岩室の郷土料理」  
いろいろのある風景から  
けんさ焼き

### 3. おわりに

3年間の資料からふり返ってみると、そこには「地域が求めているもの」を模索して取り組んだ当時の思いが詰まっていた感慨深いものがある。

地域に遺る歴史や自然の偉大さが人々の文化に大きな影響を与え、今につながっていることを改めて感じることとなった。受講者からの満足度も高く「内容が豊富でとても有意義であった。来年が楽しみです」との声も多数寄せられている。

講座を通して人々の地域への意識の高まりが伝わり、講師等の人材発掘にもつながる発展を見せた。3年間の成果は「ふるさとガイドマップ」作成という改たなる課題を乗せて、新年度に向け躍動の時を迎えようとしている。